

我がクラブの目指すところ (IM第4組)

東大阪RC 会長

国宗範彰

当クラブは昭和32年に布施ロータリークラブとして設立。その後の三市合併による東大阪市の誕生を受けて東大阪ロータリークラブと改名し、以来地元根ざした奉仕活動に従事して来ました。

私達は創立55周年時にクラブの将来に向けた存在価値と継承、更なる発展を考えて中期計画を策定しました。クラブの組織誕生の背景と受け継がれるべき精神は、初代会長が設立時の会報の中で述べていますが、その精神を忘れる事無く、会員各位が価値観や充足感、時にステータスを享受し、心の満足を得られるようなクラ

ブライフを実現して行こうと考えています。その為に一定の規模も必要です。21名のチャーターメンバーでスタートした当クラブは現在72名を有しています。3年後の60周年までには最低75名、出来れば80名まで増やしていきたいと考えています。

一方で会員選考委員会ではロータリアンとして相応しくなければ、入会を断る勇気をもってクラブの付加価値と格式を守り、会員資質の向上に努めながら、倫理観とロータリー哲学に準拠した活動を続けて行きたいと思えます。

東大阪中央RC 会長

鈴木勝俊

3年後45周年(50周年の前哨として)に向けて、①会員の増強、②クラブの財政面の黒字化、周年事業に向けて財産の積立を増やす、③五大奉仕部門による奉仕活動の活性化、特に東日本大震災復興支援、FVP取組、米山留学生のお世話をさせていただく、④会員同士の益々の

親睦の増進等々となります。

11月21日に行われた情報集会ではクラブに対する熱い思いの発言が相次ぎました。参考にさせて頂きました。有難うございました。

東大阪東RC 会長

広田 甫

東大阪東RCは1965年創立され次年度に50周年を迎えます。会員は現在59名(7月1日時点55名)、平均年齢は64歳です。

どのクラブも年代の構成を考えると同じ傾向だと思えますが、我がクラブは60歳代が56%です。10年先のことを考えますと40歳代、50歳代の新会員を確保していかなければクラブそのものの存立が危ぶまれてくるのは必定です。

今年度の第一の方針は会員増強であり、若い、元気の

あるロータリーに相応しい会員を一人でも多く確保すべく努力をしています。

第二の方針は例会出席率の向上です。魅力あるクラブ、活性化されたクラブを目指すには例会や理事会、委員会、協議会などを充実させてより多くの会員に参加していただけるように働きかけが必要であると思えます。第三の方針は新入会員を含めた3年未満の会員に対する研修を充実させて1日も早くロータリーを理解して頂き活躍してもらえるようサポートすることです。特

に新会員にはカウンセラーを2名付けています。

第四の方針は奉仕活動にも積極的に取り組むつもりです。その一つに2005年度に初めて開催した“よろず

相談室”が前年度は行うことが出来ませんでした。今年度は第8回目の“よろず相談室”を今までとは少し趣を変えて主に高齢者をターゲットに開催する予定です。

東大阪みどりRC 会長

山本昌宏

東大阪みどりロータリークラブは、今年の10月26日に創立15周年式典を無事終える事が出来ました。我々のロータリー活動の一つとして、東大阪市において青少年育成の為に事業があります。その内容は「絵本の読み聞かせ」と絵本の配布を行ってきました。絵本を通じて人への思いやりや優しさをお子たちに伝えたいという思いで続けています。15周年式典において野田市長

から感謝状を頂き、今まで以上に、地域の青少年育成に関して活動を続けていきたいと思っています。

今後のロータリー活動は、大小問わず、心を込めて思いを込めて活動していきたいと思っています。

会員増強においては、昨年3名の純増が出来ました。今年度の目標も純増3名を目指し、今後も創立時の53名を目標に増強を続けていきたいと思っています。

東大阪西RC 会長

弓手宏亮

東大阪西ロータリークラブは、今年度31名でスタートしました。“ロータリーの仲間の輪を広げよう”のスロロガンのもと、会員増強に力を入れております。と言いますのも、31名の会員中 会長経験者が20数名となっております。頭デッカチとなっております。

昨年度よりの未加入会員の掘り起こしから始めております。現実には1名加入。1名確約までいっており

ます。

そして、出来るだけ楽しい例会を目標とし、ビール例会や移動例会により来て良かった例会を目指しております。

次年度は30周年、IM4組の幹事、東輪会の幹事となっております。次年度がやりやすいようにと考え、今後進めてまいりたいと思っています。

大阪柏原RC 会長

笠井靖彦

大阪柏原RCは来年45周年を迎えます。会員数は現在31名で、平均年齢はいずれこのクラブとも同じく高いのが悩みです。したがって40歳代の会員獲得を目指しています。今年度40歳代の会員が入会され、うれしい限りです。

大阪柏原RCの社会奉仕活動の柱に「奨学金」と「招待事業」があります。その内容は、

①私たちのクラブの所在地に大阪教育大学があることもあって、大阪教育大学と提携して「奨学金」を提供し、留学生支援をしています。

②柏原市内の社会福祉施設の子ども達を招き、遊園地等々に連れて行く事業です。
これらの事業をするために、地区へのロータリー財

団、米山奨学会寄付が幾分控え目になっておりますがご容赦ください。

大阪ネクストRC 会長

茨木 繁

皆さんご存じのように、当クラブは平均年齢40歳前半です。働き盛りの上、家庭も忙しく、結果例会の出席率が芳しくない状態が続いています。そのような現状を踏まえて、少しでもロータリー活動に参加できるように、色々な趣向を凝らしたイベントや移動例会を土日に開催することにしました。

週末であれば会員が参加しやすく、なかなか例会に出席でない会員の顔を見られる様になりました。実際、出席率の低い会員も参加したいという意向があり、活動に関しても気に掛けてくれています。会長としては、嬉しく感じています。

現在イベントの運営は、会長と幹事を中心に行ってい

ます。時期が来れば、会員が参加だけでなく、運営にも積極的に関わってくれることでしょう。そして、大阪ネクストロータリークラブとして、身の丈に合った活動を継続的に行う予定しています。

各会員の時間的な余裕が出来れば、今まで以上に奉仕活動にも力を入れ、小さくても気持ちのこもった活動を行いたいと考えています。そして、活動に賛同や共感していただける方々を、今後一人でも多く増やしていきたいと考えています。

活動を通じて『一生涯の親友達と楽しく過ごす』そんなクラブを目指したいと考えております。

八尾RC 会長

高井榮彌

当クラブは昭和36年に創設、今年度で53年度を迎えたクラブです。

この歴史の中で、私達は多くの友人と出会い、そして決して少ないとは言えない数の友人を失って参りました。

私達はこの現実に向き合い、哀しい別れを繰り返さぬよう、その原因を直視した上で全員結束を是として、先ず会員それぞれが充実したロータリーライフを楽しんでいただけるクラブを目指したいと考えます。

会員がロータリーの集いや事業に参加する事が楽しみとなり、にこやかに集まって活動し、互いに労をねぎらい合う。そんな会であれば人が人を呼び、仲間の数は増えて行くと信じています。

強い結束と高い意識を持った会員が集まれば、自ずと奉仕事業の質も向上し、更に大きな喜びを得られることでしょう。恐らく先輩方には当たり前であったであろう事を、もう一度信じて実践する魅力溢れるクラブとしたいです。

八尾中央RC 会長

柳 雄二

私たちのクラブのように最小単位のクラブにとって、このテーマは難しい。一言で言えば増強しかないともいえる。「衣食たって礼節を知る」「貧すれば鈍する」ではないが、理念が後回しになりがちである。やはり目の目標は増強になるが、この増強が難しい。ここしばらくの間、会員数は漸減の一途を辿っている。色々と議論はするがやはり従来通り友人知人を頼る、という方法から脱却できず、新しい方法に踏み出せていない。

泣き言はやめて、かかる状況で強いて当クラブの目指

すところは何かとなるとやはりロータリーの目的(綱領) 考えて進もうということになる。

また当クラブの長所は何かを改めて考えてみると、会員全体が堅くまとまり、特に夫人の結束は固い、何か事あるとクラブ全体で強いスクラムが組めるということになる。特に今年度は弱小クラブからガバナーを輩出し、他クラブ様の助けをかりて取り組んでいるが、この中から何かが生まれてくることも期待しているということ、他力本願になってしまうか。

八尾東RC 会長

山田哲男

ロータリークラブとして最終的に目指すのは「ロータリーの綱領(目的)」ですが、我がクラブとしては「入りたくても入れないロータリークラブ」を目指したいと思えます。

近年の会員減少の原因は、入会していることに対する負担をメリットで埋め切れていないことにつきます。現状では得られない新たなメリットとして、ロータリー初期に活発に行われていたという「相互扶助」こそ、有力な候補ではないでしょうか。

第一ステップは、「職業奉仕」をしっかりと判り易く

定義し、それを会員全員が正しく理解し実践すること。

第二ステップは、職業奉仕を共通のペースとして持つ仲間との「親睦活動」、地域社会・外国・青少年に向けた「社会奉仕活動」を充実させるとともに、「相互扶助」の考え方を復活させ具体的・直接的なメリットを享受できる仕組みを構築すること。

この二つのステップによって、「入りたくても入れないロータリークラブ」=魅力あふれるクラブを実現し、それらを通して「ロータリーの綱領(目的)」を達成することを「我がクラブの目指すところ」と考えます。